

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東北女子短期大学
設置者名	学校法人 柴田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学科名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める 基準単位数	配置 困難
	全学共通科目	専門科目	合計		
生活科	0	9	9	7	
保育科		10	10	7	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学の全ての開講科目のうち「実務経験のある教員等による授業科目」を抽出し、一覧を下記にて公開している。

<http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2019/08/kamokuichiran.pdf>

また、「実務経験のある教員等による授業科目」のシラバスは、生活科・保育科を別にして、以下で公開している。

<http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2019/08/seikatukashirabas.pdf>

<http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2019/08/hoikukashirabas.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東北女子短期大学
設置者名	学校法人 柴田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

Webにて公開(7ページ目に記載) http://www.toutan.ac.jp/towojy/wp-content/uploads/2019/06/H30jigyohoukokusho.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人理事長	2019年4月1日 ） 2023年3月31日	施設整備、財務
非常勤	会社代表取締役社長	2019年4月1日 ） 2023年3月31日	広報、経営計画
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東北女子短期大学
設置者名	学校法人 柴田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>基本的には、毎年 2 月、次年度の授業担当者に授業計画書(シラバス)作成を依頼し 3 月中旬までに提出して頂くが、新規の授業担当者には、作成に当たっての注意事項を事前に学務課が個別で説明している。全てのシラバスが準備出来次第、学科(生活科・保育科)・学年(1 年・2 年)別に冊子として全学生に配布し、Web でも公表している。授業計画書(シラバス)には、以下の項目が記載されている。</p> <p>授業の方法：「授業形態」欄に講義・演習・実験・実習の別が記載されている</p> <p>授業の内容：「授業の概要」欄に記載されている</p> <p>年間の授業の計画：授業回数と各回の内容が記載されている</p> <p>到達目標：「到達目標及びテーマ」欄に記載されている</p> <p>成績評価の方法・基準：「評価方法」欄に各授業の評価方法(筆記試験, レポート, 提出物の点数を踏まえた 100 点満点での評価方法)が記載されている</p> <p>今年度(2019 年度)の授業計画書(シラバス)では、「実務経験のある教員等による授業科目」を表す記載はないが、次年度以降は、「実務経験のある教員による授業科目」であることを示す欄を新設する予定である。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学科(生活科・保育科)及び学年(1 年・2 年)別に Web にて公開</p> <p>http://www.toutan.ac.jp/towoj/wordpress/uploads/2019/06/19L.pdf</p> <p>http://www.toutan.ac.jp/towoj/wordpress/uploads/2019/05/19K.pdf</p> <p>http://www.toutan.ac.jp/towoj/wordpress/uploads/2019/05/18L.pdf</p> <p>http://www.toutan.ac.jp/towoj/wordpress/uploads/2019/05/18K.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学の授業計画書(シラバス)には「評価方法」欄があり、各授業別に評価方法を明記している。全ての授業は 100 点満点での評価方法である。ほぼ全ての授業について、100 点の内訳(筆記試験, レポート, 提出物等の配点の割合)も明記している。また、本学の授業計画書(シラバス)は、Web にて公開している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学の成績評価ではGPAを用いていないが、全教科100点満点とする評価を用いており、100点の内訳(筆記試験やレポート等に割り振られた配点)は、各科目別に、シラバスに明記し公表している。</p> <p>また、生活科・保育科ともに、同じ学科・学年に在籍する全学生について、単位を修得した全ての教科の平均点を算出・比較することで、順位の一覧が閲覧できるようになっており、全学生の成績分布状況の把握が可能となっている。</p> <p>平均点は、各学生について、単位を修得した全科目の合計点を、単位を修得した科目数で除したものを使用している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2019/08/gaiyou.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針(生活科)</p> <p>共通教養科目により社会人として必要な基礎常識を身につけると共に、専門教育科目のカリキュラムに沿って学習し、卒業に必要な62単位を修得し卒業が認定されたものに短期大学士(生活)が授与される。加えて、生活科の教育目標に沿った能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、教育課程の方針に位置付けられている資格を取得することができる。</p> <p>学位授与の方針(保育科)</p> <p>共通教養科目により社会人として必要な基礎常識を身につけると共に、専門教育科目のカリキュラムに沿って学習し、卒業に必要な62単位を修得し卒業が認定されたものに短期大学士(保育)が授与される。加えて、保育科の教育目標に沿った能力を身につけ、かつ所定の単位を修得することにより、教育課程の方針に位置付けられている資格を取得することができる。</p> <p>卒業の要件</p> <p>2ヵ年以上在学し共通教養科目8単位以上、保健体育科目2単位、専門教育科目40単位以上を修得し、合計62単位以上を修得する必要がある。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学位授与の方針 http://www.toutan.ac.jp/gaiyou/gaiyou-2/ 卒業の要件 http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2017/10/openInfo_02_04.pdf</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東北女子短期大学
設置者名	学校法人 柴田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.toutan.ac.jp/towojw/wp-content/uploads/2019/06/H30keisanshorui.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.toutan.ac.jp/towojw/wp-content/uploads/2019/06/H30keisanshorui.pdf
財産目録	http://www.toutan.ac.jp/towojw/wp-content/uploads/2019/06/H30zaisanmokuroku.pdf
事業報告書	http://www.toutan.ac.jp/towojw/wp-content/uploads/2019/06/H30jigyohoukokusho.pdf
監事による監査報告書	http://www.toutan.ac.jp/towojw/wp-content/uploads/2019/06/H30kansahoukokusho.pdf

2. 事業計画 (任意記載事項)

単年度計画 (名称 :)	対象年度 :)
公表方法 :	
中長期計画 (名称 :)	対象年度 :)
公表方法 :	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法 : Webにて公開 http://www.toutan.ac.jp/towojw/wp-content/uploads/2016/10/openInfo_07_01.pdf

(2) 認証評価の結果 (任意記載事項)

公表方法 :

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学科名 生活科
教育研究上の目的（公表方法：Web にて公開） http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2015/06/openInfo_01_01.pdf
（概要） 食を中心に生活を健康で豊かに過ごすための知識と技術を学び、社会に貢献できる栄養士、栄養教諭などの養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：Web にて公開） http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2017/10/openInfo_02_04.pdf
（概要） 2 ヶ年以上在学し共通教養科目 8 単位以上、保健体育科目 2 単位、専門教育科目 40 単位以上を修得し、合計 62 単位以上を修得する必要がある。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Web にて公開） http://www.toutan.ac.jp/gaiyou/gaiyou-2/
（概要） 地域社会や職場で必要とされる人材を育成し、健康で快適に過ごす知恵と技術を身につけたライフアドバイザーを養成する。 共通教養科目と専門教育科目を配置したカリキュラムを編成・実施し、目標を高く持ち、個人の能力を多様に活かすために、栄養士免許・フードサイエンティスト資格・医療管理秘書士資格の取得が可能になっている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：Web にて公開） http://www.toutan.ac.jp/gaiyou/gaiyou-2/
（概要） 生活科の受け入れ方針(アドミッションポリシー)は以下の通りである。 ○ 多様化する生活に対応できる知識と技術を身につけたい人 ○ 目標に向かって一生懸命物事に取り組む人 ○ 地域が抱える諸問題に関心があり地域に貢献したい人 ○ 栄養士を目指したい人 ○ ビジネス・情報の専門知識と技能を学び多種多様の資格取得を目指したい人 ○ 医療事務職に就きたい人

<p>学科名 保育科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：Webにて公開） http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2015/06/openInfo_01_01.pdf</p>
<p>（概要） 現代社会に求められる確かな専門知識と技術を備えた、人間性豊かな幼稚園教諭・保育士の養成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：Webにて公開） http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2017/10/openInfo_02_04.pdf</p>
<p>（概要） 2ヵ年以上在学し共通教養科目8単位以上、保健体育科目2単位、専門教育科目40単位以上を修得し、合計62単位以上を修得する必要がある。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：Webにて公開） http://www.toutan.ac.jp/gaiyou/gaiyou-2/</p>
<p>（概要） 地域社会や職場で必要とされる人材を育成し、子どもの信頼に応えられる保育者を養成する。 幼稚園教諭・保育士の資格取得を目的とした共通教養科目と専門教育科目を配置したカリキュラムを編成・実施し、目標を高く持ち、個人の能力を多様に活かすために、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格・認定ベビーシッター資格の取得が可能になっている。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：Webにて公開） http://www.toutan.ac.jp/gaiyou/gaiyou-2/</p>
<p>（概要） 保育科の受け入れ方針(アドミッションポリシー)は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもが好きで子育てをサポートする仕事に携わりたい人 ○ 子どもの気持ちや好奇心に応え寄り添える人 ○ 明朗快活で子どもに負けない体力がある人 ○ 子どもを取り巻く社会環境や未来を考え活躍したい人 ○ 幼稚園教諭・保育士になりたい人

② 教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：Webにて公開</p> <p>生活科 http://www.toutan.ac.jp/class/class-1/</p> <p>保育科 http://www.toutan.ac.jp/class/class-k/</p>

③ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学科名	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手・その他	計
—	1人	—					1人
生活科	—	5人	2人	3人	2人	4人	16人
保育科	—	3人	1人	2人	2人	0人	8人
一般教育	—	2人	2人	0人	0人	0人	4人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		29人					29人
各教員の有する学位及び業績(教員データベース等) 公表方法：Webにて公開 http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2019/06/9954252da17a16d76343bbc0932c7779.pdf							
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学科名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
生活科	90人	59人	65.6%	180人	110人	61.1%	0人	0人
保育科	100人	71人	71.0%	200人	133人	66.5%	0人	0人
合計	190人	130人	68.4%	380人	243人	63.9%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学科名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む)	その他
生活科	61人(100%)	3人(4.9%)	54人(88.5%)	4人(6.6%)
保育科	78人(100%)	0人(0.0%)	77人(98.7%)	1人(1.3%)
合計	139人(100%)	3人(2.2%)	131人(94.2%)	5人(3.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学の授業計画書(シラバス)様式には、以下の項目が記載されている。</p> <p>授業の方法：「授業形態」欄に講義・演習・実験・実習の別が記載されている。</p> <p>授業の内容：「授業の概要」欄に概要が記載されている。</p> <p>年間の授業の計画：授業回数と各回の内容が記載されている。</p> <p>成績評価の方法・基準：「評価方法」欄に各授業の評価方法(筆記試験, レポート, 提出物の点数を踏まえた 100 点満点での評価方法)が記載されている。</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学位授与の方針			
<p>両科(生活科・保育科)、共通教養科目により社会人として必要な基礎常識を身につけると共に、専門教育科目のカリキュラムに沿って学習し、卒業に必要な 62 単位を修得し卒業が認定されたものに短期大学士(生活または保育)が授与される。</p> <p>卒業に必要な 62 単位の条件として、共通教養科目 8 単位以上、保健体育科目 2 単位、専門教育科目 40 単位以上取得しなければならない。</p>			
学科名	卒業に必要となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
生活科	62 単位	有・無	単位
保育科	62 単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法：	
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：	

⑦ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：Web にて公開</p> <p>http://www.toutan.ac.jp/towaju/wp-content/uploads/2019/06/9c6b9060804ea54deca881270a54b20e.pdf</p>

⑧ 授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学科名	授業料(年間)	入学金	その他 (教育充実費)	備考 (任意記載事項)
生活科 保育科 (両科同額)	550,000 円	200,000 円	350,000 円	左記の費用の他、免許・資格(栄養教諭・幼稚園教諭・栄養士・保育士・医療管理秘書士)を取得する場合、免許・資格1つにつき、年額 30,000 円を、課程履修費として徴収している。

⑨ 大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学習一般に関する助言及び指導は学務課が担当し、学生生活・進路支援・学友会への助言等は学生課が担当している。</p> <p>生活科・保育科とも、各学年でクラス担任制を取っており、学生の学習・生活に関する助言及び指導を行っている。クラス担任は個別面談の他、放課後や空き時間等にはホームルームに足を運び、クラスの状況の把握に努めている。また、学生の状況によっては、学務課・学生課と連携を取り、一人一人の学生に応じた支援を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生課が全体の計画を立案し、学生委員会進路対策部会及びクラス担任と連携を取りながら進路支援に取り組んでいる。</p> <p>クラス担任は、学生と面談を行い、進路希望を把握した後、希望職種別(栄養士・幼保・一般事務等)に担当者を配置しており、就職活動に関する細部にわたる相談ができる体制を整えている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>毎年 4 月に学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施し、再検査を要する学生には医療機関において精密検査を受診するよう指導している。</p> <p>怪我等の事故に備えて、全学生が学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険(いずれも公益財団法人日本国際教育支援協会)に加入している。また、AED(自動体外式除細動器)を設置し、心停止の学生に対する迅速な処置が可能となっている。</p> <p>メンタル面のケアのために、臨床心理士の資格を有するスクールカウンセラーを配置し、毎週 1 回、相談を希望する学生に対応している。相談内容によっては、クラス担任及び保護者と連携を取り、学生を多方面からサポートする体制を整えている。</p>

⑩ 教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：Web にて公開</p> <p>http://www.toutan.ac.jp/towoku/wp-content/uploads/2019/06/199520fe910db668b443a19b4cdf2ad5.pdf</p>
